



平成24年度 研究テーマ

東京都環境科学研究所は、東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見の提供等を目的に、東京都からの委託に基づき、環境の改善・向上に資する幅広い調査研究を実施しています。

平成24年度の主要な研究テーマは、以下のとおりです。

1	自動車の環境対策の評価に関する研究	最新の大型ディーゼル車、ガソリン車、ハイブリッド車等の排出ガス規制等の効果検証、ハイブリッド車等、次世代自動車の低公害車の特性及び環境性能について把握する研究を実施しています。
2	資源循環に関する研究	資源循環型社会を目指すため、レアメタル(希少金属)等の有用金属の組成分析や、ごみの最終処分工程における技術調査に取り組んでいます。
3	微小粒子状物質等対策の効率的な推進に関する研究	大気中の微小粒子状物質(PM _{2.5})の削減対策に資するため、PM _{2.5} 中の有機粒子や硫酸塩の発生源の解明や、PM _{2.5} よりさらに小さいナノ粒子の測定法の検討やフィールド調査に取り組んでいます。
4	光化学オキシダント対策の効率的な推進に関する研究	光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物(VOC)について、成分ごとの寄与割合や窒素酸化物(NOx)との関係を調べています。
5	有害化学物質の分析法・環境実態に関する研究	環境中に残留したり生物の体内に蓄積することが懸念される有害性の高い化学物質の分析法を検討します。また、それらの環境中の濃度を調査しています。
6	土壌等におけるダイオキシン類の評価手法に関する研究	ダイオキシン類による汚染の発生について、その成分に関する詳細な分析を行うとともに、環境中での成分の変化を把握し、汚染の原因やその発生メカニズムを調査しています。
7	生物生息環境・自然浄化機能に関する調査研究	東京湾の水環境改善対策の一環として、沿岸部の生物生息環境、自然浄化機能に関する調査研究を行っています。
8	東京都におけるヒートアイランド現象等の合理的な情報収集及び発信に関する研究	ヒートアイランド現象やゲリラ豪雨等極端な気象現象による都市への影響を適確に把握し、効果的な対策を講じるため、気象情報の合理的な収集及び発信に関する研究を行っています。



外部研究評価委員会

東京都環境科学研究所外部研究評価委員会を平成24年6月14日(木)に開催しました。当委員会は、当研究所が実施する研究について、外部から招いた環境に関する専門家の意見やアドバイスを頂くことで、より良い研究を進めることを目的としています。評価は、「事前評価」、「中間評価」及び「事後評価」の3段階で行われます。今回は、平成23年度に実施した研究のうち、終了研究3件の事後評価と、継続研究6件の中間評価を行いました。

平成23年度に終了した「自動車の環境対策の評価に関する研究」について、『シャシダイナモを活用した東京都ならではの独自の重要な研究で、着実な成果を上げてきていると評価される。』『都市の大気環境改善のために必要なデータが系統的に得られていると思われる。』などの意見をいただきました。評価結果は、研究所ホームページにも掲載しています。



<http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>